

6月19～20日の梅雨前線豪雨における下笠ダム・松原ダムの効果について ダムにより小湊地点の水位を約0.3m低下

平成23年6月20日 17時00分 発表
九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所

- ・下笠（しもうけ）ダム・松原（まつばら）ダムへ入ってくる水量の一部を貯める（洪水調節）ことで、最大流入時には下流へ流す水量（ダム通過量）を約7割に低減しました。
- ・この結果、ダム下流の小湊地点で最高水位を約0.3m低下させたものと推測しています。

- 九州地方に停滞した梅雨前線の影響により、筑後川上流では6月18日頃より雨が降り続け、6月20日までに約230mmの降雨を記録しました。
- 下笠ダムでは、ダムに流れ込む水量（流入量）が毎秒350立方メートル（洪水調節開始流量）に達した19日14時48分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。19日17時頃には、ダムに流れ込む水量はいったん下がったものの、その後の降雨により20日4時24分に再び同操作を開始しました。
- 松原ダムでは、ダムに流れ込む水量（流入量）が毎秒700立方メートル（洪水調節開始流量）に達した20日5時11分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。
- ダムへの流入量は徐々に増加し、6月20日6時40分頃、ダムに流れ込む水量は最大毎秒995立方メートルに達しました。この時、当ダムでは毎秒269立方メートルをダムに貯留し、下流へ流す水量を毎秒726立方メートルまで低減する操作を行いました。
- その効果は、日田市の「小湊水位観測所」で最高水位を約0.3m低下させたものと推定されます。
- ダム上流域の降雨及び洪水調節の状況は下表に示すとおりです。

| 項 目 | | 数 値 | 備 考 |
|------------------|--------------------|--------------|------------------------|
| 下笠ダム 松原ダム | ダム上流域 総雨量 | 233.0mm | 6/18 1:00 ~ 6/20 13:00 |
| | 平均雨量 最大1時間雨量 | 34.4mm | 6/20 3:00 ~ 4:00 |
| | 最大流入量 | 毎秒 995立方メートル | 6/20 6:40 |
| | 最大ダム通過量 | 毎秒 726立方メートル | ←最大流入量の約7割 |
| | 最大ダム貯留量 | 350万立方メートル | |
| * 小湊水位 観測所 | 観測最高水位 (6/20 7:40) | 3.34m | 水位危険度レベル 2 |
| | ダムがなかった場合の水位(推定) | 3.64m | 水位危険度レベル 2 |
| | 洪水調節による水位低減量(推定) | 約0.3m | |

※小湊水位観測所：大山川と玖珠川の合流点より、約0.5km下流地点

※本資料は、筑後川ダム統合管理事務所ホームページ（以下のアドレス）に掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

※速報値のため各数値は変わる場合があります。

（問い合わせ先）
国土交通省九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所
副 所 長 本 多 力
Tel (0942) 39-6651 (内線 202)

下笠・松原ダムの洪水調節状況(1)

最大流入時のダム通過量を約7割に抑え
下流河川の水位上昇を軽減

平成23年6月20日
松原ダムの洪水調節の状況



下笠ダム洪水貯留前



下笠ダム洪水貯留後
(洪水貯留量約254万m³)



松原ダム洪水貯留後
(洪水貯留量約96万m³)

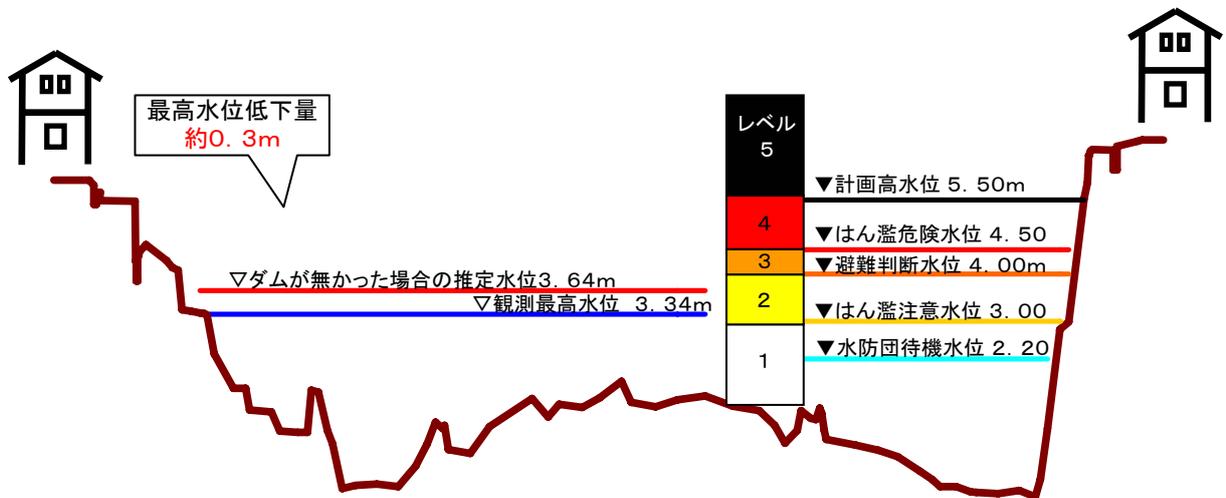


この結果...

○小湊水位観測所地点における下笠・松原ダムの効果図(推定)
大山川と玖珠川の合流点より、約0.5km下流地点

左岸側

右岸側



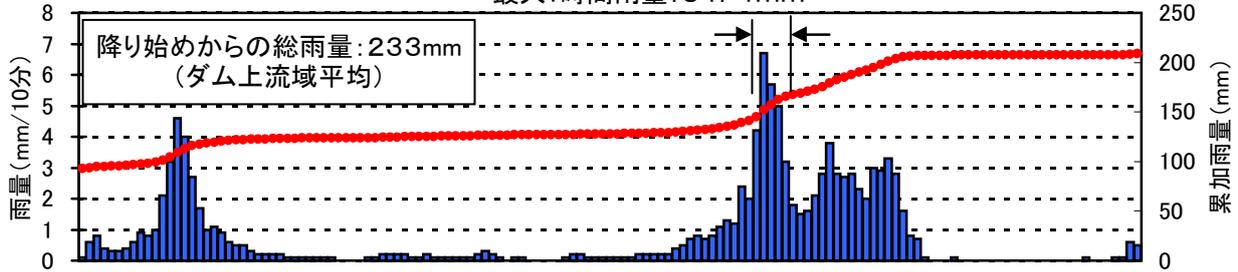
下笠・松原ダムの洪水調節状況(2)

最大流入時のダム通過量を約7割に抑え
下流河川の水位上昇を軽減

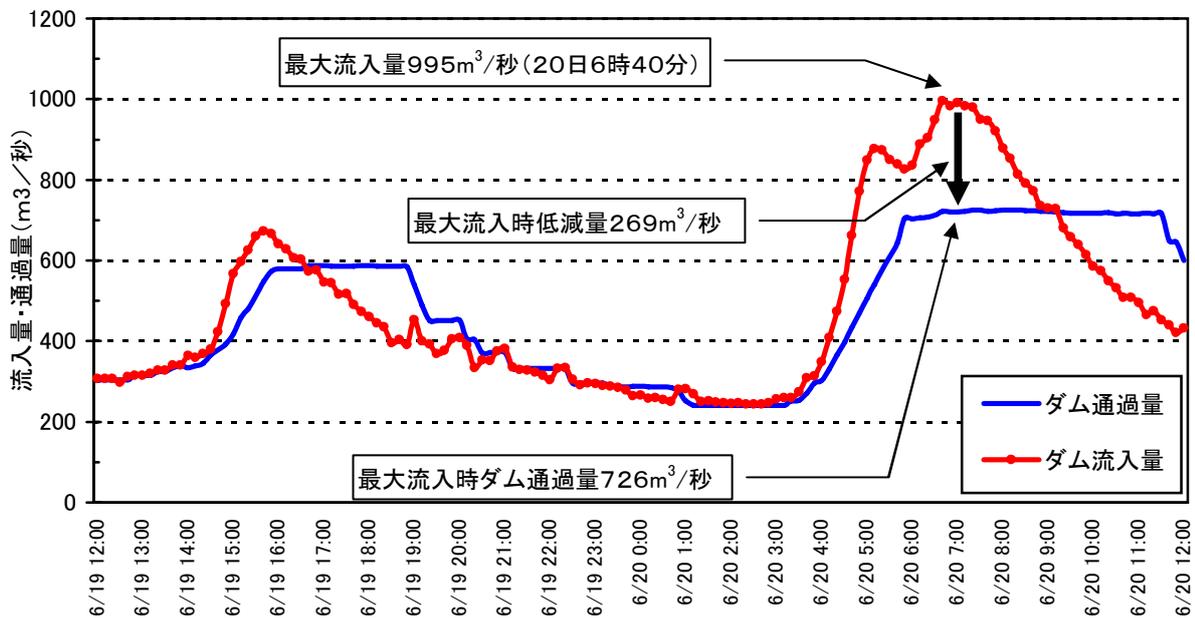
■降雨量(ダム上流域平均)

※速報値のため各数値は変わる場合があります

最大1時間雨量: 34.4mm



■下笠・松原ダムの流入量と通過量



■河川の水位【小淵水位観測所(日田市)】

